

公益社団法人 日本医学物理学会  
2023 年度 定時社員総会

日時： 2023 年 4 月 15 日(土) 18:10-19:40

場所： パシフィコ横浜 418 会議室

議案：

第1号議案 2022 年度事業報告承認の件

第2号議案 2022 年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第3号議案 その他

報告：

2023 年度事業計画に関する件

2023 年度予算に関する件

2022 年度委員会報告

以上



【公益目的事業】

1. 学術講演会の開催

第 123 回大会

会 期:2022 年 4 月 14 日(木)－17 日(日)

会 場:パシフィコ横浜 会議センターおよびウェブ開催

大会長:西尾 禎治 (大阪大学)

内 容:口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム 等

参加登録人数:849 名(会員:700 名、招待:29 名、学生:54 名、非会員学生:66 名)

うち 現地来場者数:434 名(会員:317 名、招待:21 名、学生:43 名、非会員学生:53 名)

発表件数: 97 件(ICRPT:59、一般:38)(内、キャンセル数 ICRPT:2、一般:1)

※ICRPT…International Conference on Radiological Physics and Technology の略

第 124 回大会

会 期:2022 年 9 月 15 日(木)－ 17 日(土)

会 場:長崎ブリックホール

大会長:川村 慎二(帝京大学)

内 容:一般演題発表(口頭・ポスター)、特別講演、教育講演、ハンズオンセミナー、企画セッション等

参加登録人数:全体 387 名(会員 219 名、学生 50 名、非会員 23 名、招待 18 名、協賛企業 49 名、市民  
公開講座 28 名)

発表件数:全体 95 件(内、1 件は新型コロナウイルス感染症濃厚接触者のため当日取り下げ)

2. 市民公開講座

日 時:2022 年 9 月 17 日(土)

会 場:長崎ブリックホール

テーマ:「医療における放射線 見えない病気を写し出す放射線診断」

3. 学術出版物の刊行

「医学物理」(42 巻 1 号－4 号)

Supplement 42-1 (第 123 回大会 報文集)

Supplement 42-2 (第 123 回大会 教育講演資料)

Supplement 42-3 (第 124 回大会 報文集)

Supplement 42-4 (第 124 回大会 教育講演資料)

38 巻より電子版の発行に移行し会員への無償頒布は中止したため、冊子体の希望者へは有償頒布

している。また、Supplement 42-2、Supplement 42-3 及び Supplement 42-4 は電子版のみの頒布。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.15, No.1～No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行

#### 4. 委員会活動

- |         |          |           |
|---------|----------|-----------|
| 1. 計測   | 6. QA/QC | 11. 大会支援  |
| 2. 教育   | 7. 広報    | 12. 学際交流  |
| 3. 編集   | 8. 用語    | 13. 医学物理士 |
| 4. 防護   | 9. 総務    |           |
| 5. 国際交流 | 10. 倫理   |           |

#### 5. 論文賞の授与

土井賞

放射線治療・計測・防護分野	Nohtomi Akihiro	First optical observation of $^{10}\text{B}$ -neutron capture reactions using a boron-added liquid scintillator for quality assurance in boron neutron capture therapy.
診断物理分野	Okamoto Takayuki	Patch-based artifact reduction for three-dimensional volume projection data of sparse-view micro-computed tomography.
MRI・核医学分野	Iwao Yuma	Marker-less and calibration-less motion correction method for brain PET.

#### MCA 賞 (Most Citation Award)

Fujita Hiroshi	AI-based computer-aided diagnosis (AI-CAD): the latest review to read first. 13, 6–19, 62 回
Sakai Ayaka, et al.	A method for the automated classification of benign and malignant masses on digital breast tomosynthesis images using machine learning and radiomic features. 13, 27–36, 15 回
Inaba Yohei, et al.	An initial investigation of a wireless patient radiation dosimeter for use in interventional radiology. 13, 321–326, 13 回

#### 優秀査読者賞

Eleftherios Pappas National and Kapodistrian University of Athens

Masatoshi Kondo Kyushu University

Weishan Chang Tokyo Metropolitan University

Naoki Ohno      Kanazawa University  
Satoshi Ito      Utsunomiya University  
Hiroyuki Kudo    University of Tsukuba

## 6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)  
AFOMP への参画 (National Member、委員参加)  
日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との  
連携 (合同の第三者出力線量評価機関認定制度  
準備委員会、ガイドライン委員推薦、情報交換等)  
日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)  
医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)  
放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)  
日本ラジオロジー協会 (構成団体、理事)  
乳がん検診精度管理中央機構 (理事)  
日本放射線研究連合への参画 (団体会員)  
医療被ばく研究情報ネットワークへの参画  
(団体会員)

アイントープ・放射線研究発表会への参画  
(発表会の際の運営委員)  
日本画像医療システム工業会 (委員)  
医用原子力技術研究振興財団 (委員)  
量研機構放医研 (重粒子線がん治療装置等共同  
利用運営委員会委員)  
「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施  
日本加速器学会との連携 (「Accelerator and  
Medical Physics」(仮題)の共同執筆)  
標的アイントープ治療線量評価研究会 (賛助会員)

## 【その他事業】

### 1. サマーセミナー

2022年9月2日～10月4日    オンデマンド配信  
参加者: 170名 (会員 153名、学生会員 11名、非会員 6名)

### 2. 研究課題援助

下記のものに研究課題援助を行った。

<新規>

研究代表者: 赤松 剛 (量子科学技術研究開発機構)

課題名: 医用コンプトンカメラの性能評価技術開発

<継続>

研究代表者: 藤田 幸男 (駒澤大学)

課題名: MR リニアックの強磁場下における水吸収線量計測法の確立

### 3. 研究成果報告奨励

AOCMP2022 研究成果報告奨励金:1 件

#### 【法人】

##### 1. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会を 2022 年 4 月 16 日(土)に開催した。

理事会を開催し、(2022/3/26, 4/14, 17, 6/11, 9/15, 11/26, 2023/2/4) (7 回)、電子メールによる議決を行った。

2022 年 4 月 8 日 蛍光ガラス線量計物理技術ガイドラインの発刊について

2022 年 8 月 9 日 研究課題援助採択

2022 年 11 月 4 日 画像誘導放射線治療の臨床施行のためのガイドライン 2022

2022 年 12 月 16 日 2022 年度 RPT 誌 土井賞・優秀査読者賞について

2023 年 1 月 13 日 Most Citation Awards 2022 について

※2023 年 1 月 5 日に開始した IMRT 物理技術ガイドライン 2023 の発刊についてのメール審議は他の共同発刊団体の理事会にて再検討指示が出たことより審議を中止した。

##### 2. 名誉会員の推薦

尾川 浩一氏、齋藤 秀敏氏、山本 徹氏、土井 邦雄氏を推薦した。

##### 3. 共催、協賛および後援

後援

1. 「心と体にやさしい重粒子線がん治療」講演会(QST/ANTM)
2. 第3回標的アイソトープ治療線量評価研究会大会
3. 日本放射線影響学会第 66 回大会

以上

#### 附属明細書

1. 該当事項なし

# 貸借対照表

2023年 2月28日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	44,905,242	50,491,461	△ 5,586,219
未収金	389,262	10,000	379,262
貯蔵品	5,000	5,000	0
前払費用	530,365	574,365	△ 44,000
流動資産合計	45,829,869	51,080,826	△ 5,250,957
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
普通預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(2) 特定資産			
基金拠出金	1,000,000	1,000,000	0
田中榮一基金	1,000,000	1,000,000	0
国際大会誘致・開催積立資金	13,000,000	0	13,000,000
特定資産合計	15,000,000	2,000,000	13,000,000
固定資産合計	20,000,000	7,000,000	13,000,000
資産合計	65,829,869	58,080,826	7,749,043
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払費用	2,132,883	2,267,133	△ 134,250
前受金	900,000	1,200,000	△ 300,000
前受会費	7,000,000	6,012,000	988,000
預り金	0	41,232	△ 41,232
流動負債合計	10,032,883	9,520,365	512,518
負債合計	10,032,883	9,520,365	512,518
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	54,796,986	47,560,461	7,236,525
(うち特定資産への充当額)	5,000,000	5,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	14,000,000	1,000,000	13,000,000
正味財産合計	55,796,986	48,560,461	7,236,525
負債及び正味財産合計	65,829,869	58,080,826	7,749,043

# 正味財産増減計算書

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	424,000	392,000	32,000
受取会費	24,882,000	24,898,000	△ 16,000
正会員会費	23,996,000	24,194,000	△ 198,000
学生会員会費	456,000	324,000	132,000
賛助会員会費	430,000	380,000	50,000
広告収益	396,000	132,000	264,000
バナー広告料	396,000	132,000	264,000
著作権収益	2,054,936	1,194,641	860,295
著作権収益	2,054,936	1,194,641	860,295
刊行物収益	81,720	81,902	△ 182
刊行物収益	81,720	81,902	△ 182
大会収益	9,782,371	3,898,000	5,884,371
春季大会収益	2,134,000	2,052,000	82,000
秋季大会収益	7,648,371	1,846,000	5,802,371
講習会収益	2,124,000	3,936,000	△ 1,812,000
サマーセミナー	1,705,000	3,936,000	△ 2,231,000
ウインターセミナー	419,000	0	419,000
雑収益	359	145,502	△ 145,143
雑収益	359	145,502	△ 145,143
経常収益計	39,745,386	34,678,045	5,067,341
(2) 経常費用			
事業費	27,200,778	18,584,937	8,615,841
臨時雇用賃金	260,702	160,432	100,270
会議費	643,038	282,191	360,847
旅費交通費	981,537	491,368	490,169
通信運搬費	137,800	45,111	92,689
消耗品費	585,674	368,085	217,589
印刷製本費	5,449,195	4,836,935	612,260
賃借料	3,100,377	0	3,100,377
諸謝金	1,718,049	1,777,374	△ 59,325
支払助成金	1,100,000	500,000	600,000
支払負担金	1,751,076	2,631,483	△ 880,407
委託費	9,470,442	5,651,046	3,819,396
システム維持費	1,808,538	1,519,044	289,494
雑費	194,350	321,868	△ 127,518
管理費	5,308,083	5,570,597	△ 262,514
会議費	299,450	216,352	83,098
旅費交通費	613,685	57,727	555,958
通信運搬費	108,633	468,241	△ 359,608
消耗品費	61,380	125,290	△ 63,910
印刷製本費	47,276	126,087	△ 78,811
委託費	4,139,569	4,537,787	△ 398,218
租税公課	1,580	1,100	480
雑費	36,510	38,013	△ 1,503
経常費用計	32,508,861	24,155,534	8,353,327
評価損益等調整前当期経常増減額	7,236,525	10,522,511	△ 3,285,986
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	7,236,525	10,522,511	△ 3,285,986
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	7,236,525	10,522,511	△ 3,285,986
一般正味財産期首残高	47,560,461	37,037,950	10,522,511
一般正味財産期末残高	54,796,986	47,560,461	7,236,525
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
受取寄付金	0	1,000,000	△ 1,000,000
当期指定正味財産増減額	0	1,000,000	△ 1,000,000
指定正味財産期首残高	1,000,000	0	1,000,000
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	55,796,986	48,560,461	7,236,525

# 正味財産増減計算書内訳表

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取入会金	169,600	0	254,400	0	424,000
受取会費	9,952,800	0	14,929,200	0	24,882,000
正会員会費	9,598,400	0	14,397,600	0	23,996,000
学生会員会費	182,400	0	273,600	0	456,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000
広告収益	396,000	0	0	0	396,000
バナー広告料	396,000	0	0	0	396,000
著作権収益	2,054,936	0	0	0	2,054,936
著作権収益	2,054,936	0	0	0	2,054,936
刊行物収益	81,720	0	0	0	81,720
刊行物収益	81,720	0	0	0	81,720
大会収益	9,782,371	0	0	0	9,782,371
春季大会収益	2,134,000	0	0	0	2,134,000
秋季大会収益	7,648,371	0	0	0	7,648,371
講習会収益	419,000	1,705,000	0	0	2,124,000
サマーセミナー	0	1,705,000	0	0	1,705,000
ウインターセミナー	419,000	0	0	0	419,000
雑収益	0	0	359	0	359
雑収益	0	0	359	0	359
経常収益計	22,856,427	1,705,000	15,183,959	0	39,745,386
(2) 経常費用					
事業費	25,114,441	2,086,337	0	0	27,200,778
臨時雇用賃金	260,702	0	0	0	260,702
会議費	603,218	39,820	0	0	643,038
旅費交通費	965,512	16,025	0	0	981,537
通信運搬費	134,860	2,940	0	0	137,800
消耗品費	585,674	0	0	0	585,674
印刷製本費	5,449,195	0	0	0	5,449,195
賃借料	3,100,377	0	0	0	3,100,377
諸謝金	1,584,405	133,644	0	0	1,718,049
支払助成金	0	1,100,000	0	0	1,100,000
支払負担金	1,751,076	0	0	0	1,751,076
委託費	8,752,934	717,508	0	0	9,470,442
システム維持費	1,808,538	0	0	0	1,808,538
雑費	117,950	76,400	0	0	194,350
管理費	0	0	5,308,083	0	5,308,083
会議費	0	0	299,450	0	299,450
旅費交通費	0	0	613,685	0	613,685
通信運搬費	0	0	108,633	0	108,633
消耗品費	0	0	61,380	0	61,380
印刷製本費	0	0	47,276	0	47,276
委託費	0	0	4,139,569	0	4,139,569
租税公課	0	0	1,580	0	1,580
雑費	0	0	36,510	0	36,510
経常費用計	25,114,441	2,086,337	5,308,083	0	32,508,861
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 2,258,014	△ 381,337	9,875,876	0	7,236,525
評価損益等計	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 2,258,014	△ 381,337	9,875,876	0	7,236,525
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 2,258,014	△ 381,337	9,875,876	0	7,236,525
当期一般正味財産増減額	△ 2,258,014	△ 381,337	9,875,876	0	7,236,525
一般正味財産期首残高					47,560,461
一般正味財産期末残高					54,796,986
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高					1,000,000
指定正味財産期末残高					1,000,000
III 正味財産期末残高					55,796,986

# 予算対比正味財産増減計算書

2022年 3月 1日から2023年 2月28日まで

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取入会金	388,000	424,000	△ 36,000
受取会費	25,464,000	24,882,000	582,000
正会員会費	24,630,000	23,996,000	634,000
学生会員会費	404,000	456,000	△ 52,000
賛助会員会費	430,000	430,000	0
広告収益	132,000	396,000	△ 264,000
バナー広告料	132,000	396,000	△ 264,000
会誌掲載料	50,000	0	50,000
会誌掲載料	50,000	0	50,000
著作権収益	1,300,000	2,054,936	△ 754,936
著作権収益	1,300,000	2,054,936	△ 754,936
刊行物収益	100,000	81,720	18,280
刊行物収益	100,000	81,720	18,280
大会収益	10,700,000	9,782,371	917,629
春季大会収益	2,450,000	2,134,000	316,000
秋季大会収益	8,250,000	7,648,371	601,629
講習会収益	2,600,000	2,124,000	476,000
サマーセミナー	2,600,000	1,705,000	895,000
ウインターセミナー	0	419,000	△ 419,000
雑収益	1,000	359	641
雑収益	1,000	359	641
経常収益計	40,735,000	39,745,386	989,614
(2) 経常費用			
事業費	34,873,096	27,200,778	7,672,318
臨時雇用賃金	380,000	260,702	119,298
会議費	992,000	643,038	348,962
旅費交通費	2,310,000	981,537	1,328,463
通信運搬費	221,496	137,800	83,696
消耗品費	593,500	585,674	7,826
印刷製本費	6,143,624	5,449,195	694,429
賃借料	4,732,406	3,100,377	1,632,029
諸謝金	2,480,000	1,718,049	761,951
支払助成金	1,800,000	1,100,000	700,000
支払負担金	1,940,000	1,751,076	188,924
委託費	9,223,070	9,470,442	△ 247,372
システム維持費	3,797,500	1,808,538	1,988,962
雑費	259,500	194,350	65,150
管理費	5,996,100	5,308,083	688,017
臨時雇用賃金	30,000	0	30,000
会議費	265,000	299,450	△ 34,450
旅費交通費	500,000	613,685	△ 113,685
通信運搬費	110,000	108,633	1,367
消耗品費	140,000	61,380	78,620
印刷製本費	50,000	47,276	2,724
委託費	4,800,000	4,139,569	660,431
租税公課	1,100	1,580	△ 480
雑費	100,000	36,510	63,490
経常費用計	40,869,196	32,508,861	8,360,335
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 134,196	7,236,525	△ 7,370,721
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 134,196	7,236,525	△ 7,370,721
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 134,196	7,236,525	△ 7,370,721
一般正味財産期首残高	47,560,461	47,560,461	0
一般正味財産期末残高	47,426,265	54,796,986	△ 7,370,721
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高	1,000,000	1,000,000	0
III 正味財産期末残高	48,426,265	55,796,986	△ 7,370,721

# 財産目録

2023年 2月28日現在

公益社団法人 日本医学物理学会

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金預金	普通預金		20,620,018
	みずほ銀行高田馬場支店	運転資金として	13,805,606
	三菱UFJ銀行高田馬場支店	運転資金として	6,814,412
	郵便振替		24,285,224
	郵便振替口019店998	運転資金として	20,819,114
	郵便振替019店001	運転資金として	3,466,110
未収金			389,262
	(公社)日本放射線技術学会	MCA賞副賞負担金	10,000
	榊国際文献社	ウインターセミナー参加費返金分	379,000
		会費端数入金分	262
貯蔵品	榊国際文献社内	図書カード	5,000
前払費用	榊ソウブン・ドットコム	第125回大会HP作成費	530,365
流動資産合計			45,829,869
(固定資産)			
基本財産			5,000,000
普通預金	三菱UFJ銀行高田馬場支店	公益目的保有財産であり、運用益を公益目的事業の財源として使用している	5,000,000
特定資産			15,000,000
基金拠出金	日本ラジオロジー協会	基金拠出金	1,000,000
田中榮一基金	みずほ銀行高田馬場支店	寄付により受け入れた財産であり、公益目的事業の財源として使用している	1,000,000
国際大会誘致・開催積立資金	みずほ銀行高田馬場支店	特定費用準備資金であり、国際大会誘致・開催の財源として使用している。	13,000,000
固定資産合計			20,000,000
資産合計			65,829,869
(流動負債)			
未払費用			2,132,883
	榊国際文献社	当事業年度分の事業費、管理費等	1,947,525
	学際交流委員会	図表引用使用料	107,613
	執筆料・印税	医学物理物理教科書執筆者4名分	57,745
	論文賞	MCA賞副賞	20,000
前受金		翌事業年度分の大会収益	900,000
前受会費			7,000,000
正会員会費		翌事業年度以降の会費	6,780,000
学生会員会費		翌事業年度以降の会費	78,000
賛助会員会費		翌事業年度以降の会費	110,000
入会金		翌事業年度以降の入会金	32,000
流動負債合計			10,032,883
負債合計			10,032,883
正味財産			55,796,986

# 財務諸表に対する注記

## 1. 重要な会計方針

### (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品：最終仕入原価法による原価法を採用している。

### (2) 消費税等の会計処理は税込方式を採用している。

消費税等の会計処理は、税込方式を採用している。

## 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本資産				
普通預金	5,000,000	0	0	5,000,000
小 計	5,000,000	0	0	5,000,000
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	0	0	1,000,000
田中榮一基金	1,000,000	0	0	1,000,000
国際大会誘致・開催積立資金	0	13,000,000	0	13,000,000
小 計	2,000,000	13,000,000	0	15,000,000
合 計	7,000,000	13,000,000	0	20,000,000

## 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対する額)
基本資産				
普通預金	5,000,000	-	(5,000,000)	-
小 計	5,000,000	-	(5,000,000)	-
特定資産				
基金拠出金	1,000,000	-	(1,000,000)	-
田中榮一基金	1,000,000	(1,000,000)	-	-
国際大会誘致・開催積立資金	13,000,000	-	(13,000,000)	-
小 計	15,000,000	(1,000,000)	(14,000,000)	-
合 計	20,000,000	(1,000,000)	(19,000,000)	-

## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

特定資産について、財務諸表の注記 2. 特定資産の増減額及びその残高に記載をしているため、記載を省略する。

# 監査報告書

2023年3月24日

公益社団法人 日本医学物理学会  
代表理事 福田 茂一 殿

公益社団法人 日本医学物理学会

監事 新保宗史

監事 櫻井 良憲

監事は、2022年3月1日から2023年2月28日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、主要な事業所において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告及びその附属明細書について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書（内訳表を含む）、財務諸表に対する注記及びその附属明細書）について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 財務諸表等及びその附属明細書の監査結果

財務諸表等及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。



## 2023 年度 事業計画

### 【公益目的事業】

#### 1. 学術講演会の開催

##### 第 125 回大会

会 期：2023 年 4 月 13 日(木)－16 日(日)

会 場：パシフィコ横浜 会議センターおよびウェブ開催

大会長：阿部 慎司（茨城県立医療大学）

内 容：口頭発表、CyPos、特別講演、教育講演、シンポジウム、機器展示 等

##### 第 126 回大会

会 期：2023 年 9 月 15 日(木)－ 17 日(土)

会 場：広島コンベンションホール

大会長：小澤 修一（広島がん高精度放射線治療センター）

内 容：一般演題発表(口頭・ポスター)、特別講演、教育講演 等

#### 2. 市民公開講座

第 126 回大会にて開催予定

#### 3. 学術出版物の刊行

「医学物理」(43 巻 1 号－4 号)

Supplement 43-1（第 125 回大会 報文集）

Supplement 43-2（第 125 回大会 教育講演資料）

Supplement 43-3（第 126 回大会 報文集）

Supplement 43-4（第 126 回大会 教育講演資料）

必要に応じて、ガイドライン等を Supplement として刊行

38 巻より電子版の発行に移行しており、冊子体を希望する会員へは有償頒布する。

“Radiological Physics and Technology”(Vol.16, No.1～No.4)

日本放射線技術学会と共同刊行

3,6,9,12 月発行予定

#### 4. 委員会活動

- |       |          |       |
|-------|----------|-------|
| 1. 計測 | 4. 放射線防護 | 7. 広報 |
| 2. 教育 | 5. 国際交流  | 8. 用語 |
| 3. 編集 | 6. QA/QC | 9. 総務 |

- 10. 倫理
- 11. 大会支援
- 12. 学際交流
- 13. 医学物理士

## 5. 論文賞の授与

土井賞

MCA 賞 (Most Citation Award)

優秀査読者賞

## 6. 対外活動

IOMP への参画 (National Member、委員参加)

AFOMP への参画 (National Member、委員参加)

日本放射線腫瘍学会、日本放射線技術学会との  
連携 (合同の第三者出力線量評価認定作業部会、  
情報交換等)

日本生体医工学会との連携 (相互に団体会員)

医学物理士認定機構 (構成団体、評議員)

放射線治療品質管理機構 (構成団体、理事)

日本ラジオロジー協会 (理事)

乳がん検診精度管理中央機構 (理事)

日本放射線研究連合への参画 (団体会員)

医療被ばく研究情報ネットワークへの参画  
(団体会員)

アイソトープ・放射線研究発表会への参画  
(発表会の際の運営委員)

日本画像医療システム工業会 (委員)

医用原子力技術研究振興財団 (委員)

量研機構放医研 (重粒子線がん治療装置等共同  
利用運営委員会委員)

「国際医学物理の日」記念集会の企画・実施

日本加速器学会との連携 (「Accelerator and  
Medical Physics」(仮題)の共同執筆)

## 【その他事業】

### 1. サマーセミナー

会 期:2023 年 9 月 1 日 (金)~3 日 (日)

会 場:ホテルリステル猪苗代

※新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して実施の可否・方式を決定する。

### 2. 研究課題援助

研究課題援助について公募し、申請された研究課題に対して、選考の上援助する。

### 3. 研究成果報告奨励

国際会議における研究成果報告に対して、選考の上補助する予定であるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考慮して実施の可否を決定する。

## 【法人】

### 1. 社員総会・理事会の開催

定時社員総会をパシフィコ横浜において2023年4月15日(土)に開催する。

予定議案:第1号議案 2022年度事業報告承認の件

第2号議案 2022年度決算報告(貸借対照表及び正味財産増減計算書)承認の件

第3号議案 その他

報告事項:2023年度事業計画に関する件

2023年度予算に関する件

理事会を開催する(6回)。

### 2. 代議員選挙の実施と理事及び監事候補選挙の実施と選出

### 3. 名誉会員の推薦

### 4. 共催および後援

他学会・団体の開催する研究会・セミナー等、会員へ裨益するものにつき、依頼により共催または後援する。

以上

# 収支予算書

2023年 3月1日から2024年 2月29日まで

公益社団法人日本医学物理学会

(単位:円)

科目	公益目的事業会計	その他事業会計	法人会計	内部取引等消去	合計	前年度予算	増減
I 一般正味財産増減の部							
1. 経常増減の部							
(1) 経常収益							
会費	10,388,000	0	15,582,000	0	25,970,000	25,852,000	118,000
受取入金	176,000	0	264,000	0	440,000	388,000	52,000
正会員会費	9,840,000	0	14,760,000	0	24,600,000	24,630,000	△ 30,000
学生会員会費	200,000	0	300,000	0	500,000	404,000	96,000
賛助会員会費	172,000	0	258,000	0	430,000	430,000	0
刊行物	1,336,000	0	0	0	1,336,000	1,582,000	△ 246,000
広告収益	396,000	0	0	0	396,000	132,000	264,000
会誌掲載料	50,000	0	0	0	50,000	50,000	0
著作権収益	790,000	0	0	0	790,000	1,300,000	△ 510,000
刊行物収益	100,000	0	0	0	100,000	100,000	0
大会・講習会収益	17,890,000	2,600,000	0	0	20,490,000	13,300,000	7,190,000
春季大会収益	2,450,000	0	0	0	2,450,000	2,450,000	0
秋季大会収益	14,940,000	0	0	0	14,940,000	8,250,000	6,690,000
サマーセミナー	0	2,600,000	0	0	2,600,000	2,600,000	0
ウインターセミナー	500,000	0	0	0	500,000	0	500,000
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
雑収益	0	0	1,000	0	1,000	1,000	0
経常収益計	29,614,000	2,600,000	15,583,000	0	47,797,000	40,735,000	7,062,000
(2) 経常費用							
事業費	38,731,000	4,665,000	0	0	43,396,000	34,873,096	8,522,904
臨時雇賃金	180,000	0	0	0	180,000	380,000	△ 200,000
会議費	1,611,060	50,000	0	0	1,661,060	992,000	669,060
旅費交通費	2,310,000	150,000	0	0	2,460,000	2,310,000	150,000
通信運搬費	529,000	10,000	0	0	539,000	221,496	317,504
消耗品費	375,000	0	0	0	375,000	593,500	△ 218,500
印刷製本費	8,864,750	0	0	0	8,864,750	6,143,624	2,721,126
賃借料	7,939,750	1,900,000	0	0	9,839,750	4,732,406	5,107,344
諸謝金	2,580,000	150,000	0	0	2,730,000	2,480,000	250,000
支払助成金	0	1,600,000	0	0	1,600,000	1,800,000	△ 200,000
支払負担金	2,260,000	0	0	0	2,260,000	1,940,000	320,000
委託費	8,622,284	800,000	0	0	9,422,284	9,223,070	199,214
システム維持費	2,806,000	0	0	0	2,806,000	3,797,500	△ 991,500
雑費	653,156	5,000	0	0	658,156	259,500	398,656
管理費	0	0	6,952,000	0	6,952,000	5,996,100	955,900
臨時雇賃金	0	0	30,000	0	30,000	30,000	0
会議費	0	0	300,000	0	300,000	265,000	35,000
旅費交通費	0	0	800,000	0	800,000	500,000	300,000
通信運搬費	0	0	500,000	0	500,000	110,000	390,000
消耗品費	0	0	150,000	0	150,000	140,000	10,000
印刷製本費	0	0	150,000	0	150,000	50,000	100,000
委託費	0	0	4,920,000	0	4,920,000	4,800,000	120,000
租税公課	0	0	2,000	0	2,000	1,100	900
雑費	0	0	100,000	0	100,000	100,000	0
経常費用計	38,731,000	4,665,000	6,952,000	0	50,348,000	40,869,196	9,478,804
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 9,117,000	△ 2,065,000	8,631,000	0	△ 2,551,000	△ 134,196	△ 2,416,804
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 9,117,000	△ 2,065,000	8,631,000	0	△ 2,551,000	△ 134,196	△ 2,416,804
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額					△ 2,551,000	△ 134,196	△ 2,416,804
一般正味財産期首残高					47,426,265	47,560,461	△ 134,196
一般正味財産期末残高					44,875,265	47,426,265	△ 2,551,000
II 指定正味財産増減の部							
当期指定正味財産増減額					0	0	0
指定正味財産期首残高					1,000,000	1,000,000	0
指定正味財産期末残高					1,000,000	1,000,000	0
II 正味財産期末残高					45,875,265	48,426,265	△ 2,551,000

## 計測委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 歳藤利行

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	歳藤利行◎、福村明史、小口宏、河内徹、川村慎二、草野陽介、小島徹、佐藤智春、清水森人、藤田幸男、松浦妙子、矢田隆一、山田崇裕、山下航、森下雄一郎、石川正純、田辺悦章、長畑智政、大平新吾、根本幹央、安井啓祐、布施拓、中村哲志（敬称略）
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 次の7つの分科会ごとに、放射線計測に関わる課題の検討及び調査等を行う。 標準計測法、線量標準、光子・電子、小線源、重荷電粒子、中性子、診断放射線</li> <li>2. 必要に応じて、各標準計測法、ガイドライン等のアップデートを図る。</li> <li>3. 線量標準に関する国際動向の調査、リファレンス電離箱の要件に関する調査（線量標準）</li> <li>4. 電子線の臨床利用に関する実態調査の準備(光子・電子)</li> <li>5. <math>^{125}\text{I}</math> 線源強度計測法に関する技術的検討、<math>^{60}\text{Co}</math> 線源計測トレーサビリティに関する調査（小線源）</li> <li>6. 重荷電計測に関わる文献、研究、動向調査（重荷電粒子）</li> <li>7. 中性子捕捉療法に関する線量評価手法マニュアル作成のための活動(中性子)</li> <li>8. 2021 年度に実施した治療計画 CT の被ばく線量および外部照射における位置照合の撮影線量に関するアンケートの結果の解析および治療計画 CT および OBI/CBCT 撮像時における線量の実測評価方法の検討（診断放射線）</li> </ol>
委員会開催 履歴	<p>4月16日第1回計測委員会 パシフィコ横浜/Zoom 会議 出席 15 名</p> <p>9月16日第2回計測委員会 長崎ブリックホール/Zoom 会議 出席 18 名+1 名オブザーバー</p>
総括 不足の場合は別紙付加可	<p>上記課題について検討し、以下の活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学物理学会機関誌「医学物理」の計測委員会企画に協力 I-125 の線源強度計測についての解説文書</li> <li>・第123回学術大会計測委員会企画「キャッチアップ 最新 密封小線源計測法」を実施</li> <li>・第124回学術大会計測委員会企画「リニアックを用いた線量校正」を実施</li> <li>・第125回学術大会計測委員会企画の立案と準備 「MR リニアックの磁場下における線量計測」の立案と準備</li> <li>・<math>^{125}\text{I}</math> 線源強度計測課題検討 WG 活動において技術報告書を作成した。機関誌に掲載予定。（小線源）</li> <li>・2021 年度に実施した <math>^{60}\text{Co}</math> のウエル形電離箱線量計を使った測定について、利用普及の取り組みを実施した。（小線源）</li> <li>・放射線治療における治療以外の被ばく線量について DRL の策定に向けて活動中 (JASTRO 研究班、放射線防護委員会と合同)(診断放射線)</li> <li>・医療用リニアックからの高エネルギー光子線・電子線水吸収線量校正のためのプロトコル</li> </ul>

	<p>策定準備 (WG が原案を提示)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・標準計測法 12 増刷へ対応(第 11 刷)</li><li>・中性子捕捉療法のための測定法の検討および簡易計測法のマニュアル作成に向けた情報収集(日本中性子捕捉療法学会、QA/QC 委員会と連携)(中性子)</li></ul>
--	---

## 教育委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 小澤 修一

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	小澤修一◎、津藤真司、石原佳知、杉本聡、藪田和利、納富昭弘、福田茂一、沼崎穂高、宇都宮悟、小野薫、加藤貴弘、唐澤久美子、山本徹、古徳純一、舘岡邦彦、成田雄一郎、芳賀昭弘、宮部結城、角谷倫之、有村秀孝、和田真一コ
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医学物理サマーセミナー企画・開催</li> <li>2. 学術大会教育講演企画・開催</li> <li>3. 医学物教育のあり方検討</li> <li>4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知</li> <li>5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査</li> <li>6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画の準備</li> <li>7. データベース分科会（広報委員会、QA/QC 委員会との共同プロジェクト）</li> </ol>
委員会開催 履歴	<p>2022 年 4 月 12 日 委員会会議@JSMP123（現地およびウェブ）</p> <p>2022 年 9 月 17 日 委員会会議@JSMP124(現地およびウェブ)</p> <p>随時ネット会議・メール会議を開催</p>
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. サマーセミナー企画・開催（主担当：津藤） <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大により現地＋ウェブのハイブリッド開催を断念し、オンデマンド配信（9 月 2 日～10 月 14 日）を実施。参加者数 170 名</li> </ul> </li> <li>2. 学術大会教育講演企画・開催（主担当：石原） <ul style="list-style-type: none"> <li>・医学物理教育コース交流会：123 回学術大会 HP 上で動画配信。125 回大会は現地開催。2023 年 4 月 15 日（土）15：40～17：50@パシフィコ横浜会議センター4 階 419 24 施設からの現状報告、IAEA の教育プログラムへの参加報告</li> <li>・125 回学術大会の教育講演 6 演題の企画・調整</li> <li>・第 1 回ウィンターセミナーを 2023 年 1 月 28 日(土) にウェブ＋オンデマンド開催。参加者 88 名。</li> </ul> </li> <li>3. 医学物理教育のあり方検討（主担当：杉本） <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会 HP の「医学物理教育プログラム」を随時更新。</li> </ul> </li> <li>4. 海外の各団体の情報収集と会員への周知（主担当：藪田） <ul style="list-style-type: none"> <li>・学会 HP の「教育委員会ガイドライン報告」を 2022 年版へ更新</li> </ul> </li> <li>5. IAEA RCA の E-learning コンテンツの審査（担当：福田） <ul style="list-style-type: none"> <li>・診断、核医学、治療の各分野の審査に委員を派遣</li> </ul> </li> <li>6. 医学物理誌上での編集委員会との共同企画の準備（担当：納富） <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会企画記事を掲載。</li> </ul> </li> <li>7. データベース分科会（主査：沼崎、幹事：石原）</li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"><li>• E-learning コンテンツの運営（会員ページからアクセス可能）</li></ul> 2022年度は第123回、124回学術大会の教育講演動画を追加
--	--

## 編集委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 長谷川 智之

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	姉帯優介、荒木不次男、河野良介、榮 武二、佐藤清香、杉本 聡、高橋 豊、納富昭弘、橋本成世、◎長谷川智之、藤崎達也、馬込大貴、松藤成弘、森 祐太郎、山田崇裕、渡部浩司
今年度課題	1. 機関誌「医学物理」の発行 2. 掲載記事の充実 3. RPT 誌の IF 獲得支援
委員会開催 履歴	2023/1/25～2/1 第1回編集委員会（ウェブ及びメール）
総括 不足の場合は別 紙付加可	<p>1. 機関誌「医学物理」第42巻の発行</p> <p>(1) 1号：3月末、2号：6月末、3号：9月末、4号：12月末発行。</p> <p>(2) 投稿論文（査読付）：資料1編、解説：16編、施設紹介：4編、連載コラム：4編ほか掲載。</p> <p>2. 掲載記事の充実</p> <p>(1) JAMIT との合同企画による特集「田中栄一博士の業績を紐解く」</p> <p>(2) 各種委員会企画（教育委員会、防護委員会、計測委員会、QAQC 委員会ほか）</p> <p>(3) 施設紹介新シリーズ（継続）</p> <p>(4) 土井邦雄名誉会員による連載コラム（継続）</p> <p>3. RPT 誌の IF 獲得支援</p> <p>(1) RPT 誌に掲載したレビュー論文の和訳1編を解説カテゴリーにて掲載。</p> <p>(2) RPT 誌が IF 獲得に至る見込みであるため同分科会を解散。</p>

## 編集委員会(英語論文誌)

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 納富昭弘

委員 委員長◎ 副委員長○	<p>編集委員長：◎兼松伸幸</p> <p>副編集委員長：○荒木不次男,○長谷川智之,○榮 武二（3名）</p> <p>シニアアドバイザー：土井邦雄、遠藤真広</p> <p>編集委員：遠藤 暁, 遠藤真広, 芳賀昭弘, 羽石秀昭, 林 直樹, 角谷倫之, 金澤光隆, 川村慎二, 小森雅孝, 馬込大貴, 森 慎一郎, 納富昭弘, 隅田伊織, 歳藤利行, 渡部浩司, 山本 徹, 山本誠一, 山谷泰賀, 米内俊祐(19名)</p> <p>担当理事・編集委員：納富昭弘</p>
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>2022 年度の土井賞、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award)、MCA 賞(Most Citation Award) の選考を行う。</li> <li>RPT 誌の Impact Factor 獲得のための対策を検討する。</li> <li>編集委員の任期更新を行う。</li> </ol>
委員会開催 履歴	<ol style="list-style-type: none"> <li>2022年3月5日 第1回 RPT 全体編集会議 [オンライン開催]：40名出席</li> <li>2022年6月16日 第1回 RPT 運営会議 [東京・ハイブリッド開催]：13名出席</li> <li>2022年9月23日 第2回 RPT 全体編集会議 [オンライン開催]：40名出席</li> <li>2022年12月9日 第2回 RPT 運営会議 [福岡対面開催]：14名出席</li> <li>随時、メール会議開催。</li> </ol>
総括 不足の場 合は別紙付 加可	<p>上記課題について検討し、以下の対応が行われた。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>2022 年度の土井賞 3 名、RPT 誌優秀査読者賞(Outstanding Reviewer Award) 6 名、Most Citation Award (MCA) 3 名の受賞者が決定した。また、2017 年度の MCA 1 名の追加表彰を行うこととなった。これに併せて、英語論文学会誌編集功労賞 を退任された桂川茂彦副編集委員長、真田茂副編集委員長に贈呈することとなった。</li> <li><b>2023 年から RPT 誌に Impact Factor がつく</b>ことが、2022 年 7 月 26 日 Clarivate Analytics 社より公式に発表されました。 <a href="https://clarivate.com/blog/clarivate-announces-changes-to-the-2023-journal-citation-reports-release/">https://clarivate.com/blog/clarivate-announces-changes-to-the-2023-journal-citation-reports-release/</a> これまでの皆様の御支援・御協力に感謝申し上げます。なお、正式に IF が付与されると、自己引用率等も厳しく評価されるようになり、その割合が異常に高くなると引用操作とみなされて IF が取り消されることもございますので、御留意願います。</li> <li>編集委員の任期更新作業が行われた。編集委員の更新・継続の意思を確認した。また、新たに 3 名の新編集委員が就任した。また、長谷川智之副編集委員長が退任し、後任として山谷泰賀編集委員が 2023 年度から副編集委員長に就任することとなった。</li> </ol>

## 放射線防護委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 古場 裕介

委員 委員長◎	古場 裕介◎、磯辺 智範、大谷 浩樹、川村 慎二、須田 雄飛、想田 光、 福士 政広、藤本 隆広、松原 孝祐、松本 真之介、森 祐太郎、盛武 敬、 米内 俊祐、赤羽 恵一、張 維珊（担当理事）
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報共有 放射線防護に関する情報を収集・共有する。</li> <li>2. 広報活動 放射線防護に関する情報を発信する。</li> <li>3. 対外協力 放射線防護に関わる他組織と協力し、医療放射線防護活動推進に寄与する。</li> </ol>
委員会開催 履歴	<p>4月15日 於：パシフィコ横浜（ハイブリッド開催） 出席11名</p> <p>6月23日 於：Web開催 出席9名</p> <p>9月16日 於：長崎ブリックホール（ハイブリッド開催） 出席15名</p>
総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療被ばく研究情報ネットワーク J-RIME <ul style="list-style-type: none"> <li>・第14回総会出席（2022年5月30日）</li> <li>・DRL-WG第8回会合出席（2023年1月16日）</li> </ul> </li> <li>2. JSMP125における委員会企画 企画テーマ：線量評価のための計算用人体ファントムの動向と応用研究 演者：JAEA 佐藤大樹、QST 古場裕介</li> <li>3. ICRP2023 サテライトイベントの検討 日本核医学会学術総会・日本核医学技術学会総会（2023年11月16-18日）時にサテライトイベントとしてシンポジウムの共催を企画</li> </ol>

## 国際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 林 直樹

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	林 直樹◎、 有村秀孝、伊良皆拓、小澤修一、亀澤秀美、加茂前健、呼尚徳、高橋豊、武川英樹、 武村哲浩、中市徹、中山雅央、福田茂一、松浦妙子、水野裕一、門前一、八木雅史
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 海外学会団体等との交流と共同事業推進、会員への情報共有 AFOMPやIOMPのNMOとしての交流や共同事業の推進を図るとともに、AAPMやEFOMPなどとの交流推進も図る。また、これらの情報を会員へ展開する。</li> <li>2. 海外学会等への派遣事業に関すること 海外学会や研修へ参加する会員の審査やそれに関連した案件を実施する。</li> <li>3. JSMP 学術大会での国際関連企画の支援 春の大会や秋の大会での国際交流関連企画の立案、および関連企画への後方支援をする。</li> <li>4. その他の国際交流関連企画の後方支援 International Day of Medical Physics や International week of Medical Physics などの情報を会員へ展開し、実現する。</li> </ol>
委員会開催 履歴	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. メール会議等</li> <li>2. 適宜オンライン会議</li> </ol>
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. AFOMP や IOMP の webinar 等の企画を会員へ情報展開した。 AFOMP council meeting や IOMP council meeting へ参加した。 AFOMP EXCOM election の投票とその他 IOMP との協議に参画した。 委員が AOCMP2022 の IAC に就任し、大会の運営に参画した。 委員が ICMP2023 の実行委員等に就任した。</li> <li>2. AOCMP2022 において、1名の渡航援助を行った。 渡航援助をした会員(根本貴文会員)は現地参加をし、Best paper award の授賞式に参加した。参加報告書はすでに事務局に提出済み。 福田会長と林が AOCMP international advisory committee として参加し、演題の評価やプログラム進行などを行った。会期中開催された AFOMP council meeting については、福田会長、西尾副会長がオンライン参加、林が現地参加をした。</li> </ol>

	<p>3. JSMP124 への企画支援 JSMP124 中に国際交流委員会企画を開催した。 (医学物理学会の 10 年後を考える)</p> <p>4. JSMP125 への企画支援 JSMP125 を IOMP と AFOMP より Endorse してもらうための申請を行った。 ICRPT の教育講演の講師として韓国から 1 名と国際交流委員会企画でのシンポジスト 2 名の招聘を行った。</p> <p>5. IDMP2022 の開催 JBMP 国際交流委員会と共同でシンポジウムを開催した。</p> <p>6. WC2028 の開催地投票の実施 選定に際して日本から林が 1 票を投票した。結果、Monterrey(メキシコ)に決定した。</p> <p>7. FARO や IRON との連携について 放射線腫瘍医を中心とした団体である FARO や IRON と AFOMP との連携を進めるべく、議論を行った。</p> <p>8. AAPM との連携 AAPM2022 において、AAPM, KSMP, JSMP との連携でのシンポジウム(7/9 13:00-17:00(現地時間))を開催した。日本からの演者は 4 名であったが、職場の渡航制限等の影響により日本からの参加者は韓国に比べると少なかった。 AAPM2023 でも同様のシンポジウムを企画することとなった。</p> <p>9. AFOMP award, fellow, IUPESM award などへの申請 各種アワードの案内や申請について取り次ぎを行った。</p> <p>10. 2023 年度の運営企画について AFOMP や IOMP に加えて AAPM との連携に関する事業、JSMP 学術大会における委員会企画の起案、AOCMP の運営企画補助など、会員の国際交流派遣推進事業について議論を行った。</p>
--	---

**QA/QC 委員会**

日本医学物理学会 会長 殿

令和 4 (2022) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 中村 光宏

委員 委員長◎ 副委員長○	中村 光宏◎, 岡本 裕之○, 石川 諒尚, 伊良皆 拓, 右近 直之, 柿野 諒, 加藤 貴弘, 角谷 倫之, 河原 大輔, 熊田 博明, 呼 尚徳, 小玉 卓史, 杉本 聡, 鈴木 俊介, 武川 英樹, 田中 浩基, 恒田 雅人, 豊田 雅彦, 中村 哲志, 福永 淳一, 藤田 幸男, 前田 貴雅, 宮部 結城, 椋本 宜学, 山田 崇裕
今年度課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>● (前期からの継続) スクリプトガイドライン WG</li> <li>● (新規) 適応放射線治療 WG, 加速器型 BNCT WG, 核医学治療 WG</li> <li>● 他学会・団体の学術研究活動との連携 (JASTRO・医用原子力技術研究振興財団など)</li> </ul>
委員会開催 履歴	2022 年 7 月 5 日, 9 月 20 日, 11 月 15 日 2023 年 1 月 17 日
総括 不足の場合は 別紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スクリプトガイドライン WG : <u>武川</u>, <u>河原</u>, <u>小玉</u>, <u>杉本</u>, <u>藤田</u>, <u>宮部</u>, <u>椋本</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 治療計画装置等で利用可能なスクリプトに関するガイドラインをまとめた。日本放射線腫瘍学会, 日本放射線技術学会からも査読コメントをいただき, 本ガイドラインの協力団体に加わっていただいた。</li> <li>● 本ガイドラインを近日中に公開する。</li> </ul> </li> <li>2. 適応放射線治療 WG : <u>伊良皆</u>, <u>恒田</u>, <u>岡本</u>, <u>角谷</u>, <u>豊田</u>, <u>福永</u>, <u>藤田</u>, <u>椋本</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● メーカー各社からリリースされている適応放射線治療システムの仕様をまとめ, WG 内で共有した。</li> <li>● 装置の情報共有を踏まえ, 適応放射線治療時にチェックすべき項目など Tips としてまとめている。</li> <li>● ファントムを用いた検証を検討している。</li> </ul> </li> <li>3. 加速器型 BNCT WG : <u>中村 (哲)</u>, <u>石川</u>, <u>柿野</u>, <u>加藤</u>, <u>熊田</u>, <u>呼</u>, <u>鈴木</u>, <u>田中</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本中性子捕捉療法学会と共同で IAEA から出版されるテクニカルガイドラインの翻訳版の作成を進めている。</li> <li>● 加速器 BNCT 装置用の品質管理項目について検討を進めている。</li> </ul> </li> <li>4. 核医学治療 WG : <u>右近</u>, <u>前田</u>, <u>山田</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>● JSMP QA/QC 委員会の HP に核医学治療の QA/QC に関する参考情報を掲載した。</li> <li>● 標的アイソトープ治療線量評価研究会と共同で ICRU レポートの翻訳版の作成を進めている。</li> </ul> </li> <li>5. 第三者出力線量評価機関認定制度準備委員会 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 第三者出力線量認定作業部会が開始され, 日本医学物理学会からは中村が副作業部会長に指名された。</li> </ul> </li> <li>6. ガイドラインの査読 <ul style="list-style-type: none"> <li>● IGRT ガイドライン改訂版を査読した。</li> </ul> </li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"><li>● IMRT 物理技術ガイドライン改訂版を査読した.</li></ul> <p>7. 転載許可申請への対応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>● 南山堂からの「X線線量計算の不均質補正法に関する医学物理ガイドライン」の転載許可申請があり，許可した.</li></ul>
--	---

## 広報委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 角谷倫之

<p>委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ</p>	<p>角谷倫之◎、石原佳知○、新井一弘、稲葉洋平、金井貴幸、久保 均、齋藤正英、千葉貴仁、張 維珊、津田啓介、中島祐二郎、平島英明、藤田幸男、三輪建太、山下幹子、脇田明尚</p>
<p>今年度課題</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HP の管理・運営</li> <li>2. SNS の管理・運営</li> <li>3. jsmp-hiroba の管理・運営</li> <li>4. 広報用のパンフレットの設計・作成</li> </ol>
<p>委員会開催 履歴</p>	<p>随時メール会議及びオンライン会議</p>
<p>総括 不足の場合は別 紙付加可</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. HP の管理・運営を行った。</li> <li>2. SNS の管理・運営を行った。</li> <li>3. jsmp-hiroba の管理・運営を行った。</li> <li>4. 学会を広報するためのパンフレットの設計・作成を行い、学会等で配布した。</li> </ol> <div style="text-align: center;">  <p>公益社団法人 日本医学物理学会</p> <p>〒162-0801 東京都新宿区山手町158-5 アカデミーセンター(株)国際文庫社内 TEL 03-6824-9384 FAX 03-5227-8631 MAIL jsmp-post@bunken.co.jp WEB <a href="https://www.jsmp.org/">https://www.jsmp.org/</a></p> </div>

## 用語委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 小口 宏

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	小口 宏◎、秋田和彦、阿部慎司、上田悦弘、奥村雅彦、小田倫生、株木重人、木藤哲史、佐藤智春、隅田伊織、高津 淳、田ノ岡征雄、田村昌也、津藤真司、南部秀和、布施 拓馬、籠大貴、茂木佳菜、門前 一、矢田隆一、山田幸子
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EMITEL への対応</li> <li>2. 用語集の JSMP-JSRT 共同管理</li> <li>3. JASTRO 用語集とのすり合わせ</li> <li>4. 用語集の更新（スリム化）</li> <li>5. 用語集 HP の更新</li> </ol>
委員会開催 履歴	9月16日 於：長崎ブリックホール 出席8名
総括 不足の場合は別 紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. EMITEL への対応：本年度は特に作業依頼はなかった。</li> <li>2. 用語集の JSMP-JSRT 共同管理            JSRT の編集委員会 学術雑誌編集委員会 用語集管理小委員会の内田委員長、小笠原前委員長、JSMP 用語委員会の小口委員長、隅田前委員長と6月29日に意見交換を行った。           <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 将来的には、RPT 誌を見据えて基本用語集を一本化したい。</li> <li>➤ 「terminolgy (JSMP vs JSRT).xlsx」を基に修正を検討したい。</li> <li>➤ 変更歴の共有。</li> <li>➤ 新たな用語は定義不要。</li> <li>➤ 区分の在り方を検討。</li> </ul>           両会の委員も交えた会議を定期的に開催したい。         </li> <li>3. 用語集の更新（スリム化）            一般用語や解剖学用語など、直接医学物理学とは関連の薄い用語を抽出（用語集への反映はまだできていない）</li> <li>4. 用語集 HP の更新：特に更新記事はなかった。</li> <li>5. 予算：用語集サーバー管理費 5,239 円（税込）支払い</li> </ol>

## 総務委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 4 (2022) 年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 水野秀之

委員 委員長◎	水野 秀之◎、福田 茂一、西尾 禎治、赤羽 恵一、乳井 嘉之、中村 光宏、田中 創大
今年度課題	<p>学会活動を円滑に行うため、以下の業務を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 総会、理事会議案調整</li> <li>2. 事業計画案、事業報告案の作成</li> <li>3. 会員名簿管理</li> <li>4. 定款・細則などの制定、改定に関する案文作成</li> <li>5. 委員会活動の調整</li> <li>6. 名誉会員の推薦</li> <li>7. その他必要な業務</li> </ol>
委員会開催 履歴	<p>2022 年 6/10 (出席 7 名)、9/9 (出席 7 名)、11/22 (出席 5 名)</p> <p>2023 年 1/24 (出席 7 名)、2/3 (出席 5 名)、3/22 (出席 7 名) 他、頻回のメール等</p>
総括 <small>不足の場合は 別紙付加可</small>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 理事会議案調整 (2022.4~で 7 回開催)、理事会メール審議対応 5 回 (研究課題援助採択、画像誘導放射線治療の臨床施行のためのガイドライン、2022 年度 RPT 誌 土井賞・優秀査読者賞、MCA 賞、IMRT 物理技術ガイドライン (審議中に先方依頼でキャンセル))、総会議案調整</li> <li>2. 事業計画案、事業報告案の作成 (各委員会の事業計画・予算のとりまとめ等)</li> <li>3. 会員名簿管理 (名誉会員 (尾川 浩一先生、齋藤 秀敏先生、山本 徹先生、土井 邦雄先生) の推薦・盾の作成)</li> <li>4. 国際大会の誘致・開催に対する特定資産の取扱規程整備・積立の実施。</li> <li>5. 委員会編成・委嘱状発行、表彰分科会設置</li> <li>6. 公益法人化対応 (内閣府への役員変更登記・事業報告・事業計画書・(ウインタ一) セミナー活動変更届等提出、財務 3 基準を満たすための積立)</li> <li>7. 対外活動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・関連団体への理事・委員等の派遣対応 (IOMP、AFOMP、JBMP、JASTRO、品質管理機構、JRC、精中機構、RI 協会、JIRA、JARR、ANTM、QST、J-RIME)</li> <li>・賛助会員 (法人) : 日本生体医工学会・標的アイソトープ治療線量評価研究会</li> <li>・後援: 日本放射線影響学会第 66 回大会</li> <li>・JSRT 懇談会・秋季学術大会式典への会長派遣</li> <li>・厚労省班会議『放射線療法の提供体制構築に資する研究』大西班協力依頼対応</li> </ul> </li> <li>8. その他各種調整業務等 (監事監査、Zoom 契約)</li> </ol>

## 倫理委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 西尾 禎治

委員 委員長◎	西尾 禎治◎ 岡本 裕之、片寄 哲朗、唐澤 久美子、黒岡 将彦、恒田 雅人、中村 光宏、 深堀 麻衣、水野 秀之、辻角 智之
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 本会会員が行う学術研究発表における倫理に関する調査・検討・教育・啓発 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術大会実行委員会およびプログラム委員会との連携</li> <li>・ 編集委員会、RPT 誌編集委員会との連携</li> </ul> </li> <li>2. 倫理に関する申告を受けた案件についての調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 倫理的および社会的観点からの調査・検討と理事会への報告</li> <li>・ 必要に応じて有識者から意見聴取</li> </ul> </li> <li>3. 必要に応じて倫理に関する細則についての調査・検討</li> <li>4. 必要に応じて個人情報保護に関する細則についての調査・検討</li> <li>5. その他</li> </ol>
委員会開催 履歴	適宜メール審議
総括 不足の場合は 別紙付加可	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. JSMP124 登録演題の倫理疑義審査（大会実行委員と検討）</li> <li>2. JSMP124 研究課題報告における COI 申告（大会実行委員と検討）                  該当者が病院勤務から医療機器メーカーへの転職に伴う、学術大会での研究課題報告の COI 抵触への懸念。                  「本対応」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表者が自身の所属企業に対して学術大会で発表することを報告する。</li> <li>・ 発表スライド表紙に、現所属名と研究支援時所属名を併記する。</li> <li>・ 発表スライド 2 枚目に COI を示す。</li> </ul> </li> <li>3. JSMP125 登録演題の倫理疑義審査（大会実行委員と検討）                  発表演題に対して、利益相反（COI）申告に関する相談依頼。                  「本対応」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 発表時のスライドの謝辞に企業側からの装置借用の件を記載する。</li> </ul> </li> <li>4. ICRPT における演題倫理審査の対応についての検討                  JSMP と JSRT との共催である ICRPT において、登録全演題の倫理審査の対応をどのように行うかを検討する必要がある。JSRT では常設のプログラム委員会及び倫理委員会が学術大会の審査を全て行っている。JSMP の場合は、学術大会ごとに大会長、実行委員、プログラム委員を選定しての運営方法である。                  ICRPT の登録演題（全演題）倫理審査として、以下の方針で行うこととした。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学術大会ごとのプログラム委員から 4 名（or 5 名）の ICRPT 倫理審査担当者を選定する。</li> </ul> </li> </ol>

	<ul style="list-style-type: none"><li>・ JSMP 倫理委員会から 2 名の委員を学術大会プログラム委員会の委員に入れる。</li><li>・ JSMP127 (JRC2024) より実施する。</li><li>・ 倫理審査対応者は毎年実施の JSRT 倫理講習会 (オンライン講習会) を受講する。</li><li>・ 将来的には JSMP 倫理員会で登録演題倫理審査を実施できるような体制を構築する。</li></ul> <p>5. 今後の学術大会における演題倫理審査の実施可能委員の確保</p> <p>2023 年秋の学術大会 (JSMP126) から、倫理委員会から 2 名の委員をプログラム委員会へ入れて対応する。</p>
--	---

## 大会支援委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 久米 恭

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	久米 恭◎、阿部慎司○、小澤修一○、有村秀孝、石川正純、磯辺智範、岡本裕之、兼松伸幸、 亀澤秀美、川内野友彦、河原大輔、川村慎二、黒岡将彦、小島秀樹、小森雅孝、佐々木誠、 棚邊哲史、歳藤利行、西尾禎治、乳井義之、林 直樹、福田茂一、藤崎達也、明上山温、三浦 英治、水野秀之
今年度課題	1. 大会長候補者の選考 会長からの要請により候補者を選考して答申。（その後理事会決議を経て委嘱） 2. 個々の学術大会の準備を支援 準備の工程管理、大会役員への助言、マニュアル化。 特別企画テーマの検討、演者・座長の推薦。 海外演者対応、倫理相談、広報や出版の支援。 企業広告、他団体からの協賛や後援の仲介、等。 3. 学術大会と他の常設委員会との連携の仲介 委員会主催企画など連携の維持促進。 4. 委員就任依頼
委員会開催 履歴	4/15（パシフィコ横浜）、9/17（長崎ブリックホール+ハイブリッド）、10/3（リモート）、 10/31（リモート）、11/16（リモート）、1/31（リモート）
総括 不足の場合は別 紙付加可	1. 委員の就任依頼（委嘱） 2. 分科会の設置と活動 プログラム支援委員会分科会 ICRPT の企画運営・検討 3. 大会長候補者の選考 128 回大会 129 回大会の大会長候補者の募集と選考 4. 開催企画中大会（124-128 回）のフォロー、開催大会（124 回）の会計チェック

## 学際交流委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和4（2022）年度の活動につき、下記の通り報告します。

報告者氏名 磯辺智範

委員 委員長◎ 副委員長○ 顧問コ	磯辺智範◎、笈田将皇、黒河千恵、小島礼慎、眞正浄光、武居秀行、都築 明、西岡史絵、 納富昭弘、福田茂一、森 祐太郎						
今年度課題	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1. 交流活動</td> <td style="width: 50%;">4. 表彰候補者推薦</td> </tr> <tr> <td>2. 委員推薦</td> <td>5. 研究課題援助</td> </tr> <tr> <td>3. 後援等</td> <td>6. その他</td> </tr> </table>	1. 交流活動	4. 表彰候補者推薦	2. 委員推薦	5. 研究課題援助	3. 後援等	6. その他
1. 交流活動	4. 表彰候補者推薦						
2. 委員推薦	5. 研究課題援助						
3. 後援等	6. その他						
委員会開催 履歴	<p>Web 会議（Zoom）：7/13、11/15</p> <p>メール会議（4回）：7/1～7/15、7/25～8/1、12/20～12/23、1/25～2/13</p>						
総括 不足の場合は別 紙付加可	<p>1. 交流活動</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 渉外活動</p> <p style="padding-left: 40px;">① 日本放射線技術学会（JSRT）との懇談会：6/23、2023/1/19</p> <p style="padding-left: 40px;">② 日本生体医工学会（JSMBE）との懇談会：2023/1/23</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 学会での合同企画／セッション</p> <p style="padding-left: 40px;">① 日本生体医工学会（JSMBE）：第125回日本医学物理学会学術集会（4/16、横浜） 「with コロナ時代におけるハプティクス技術の新展開」</p> <p style="padding-left: 40px;">② 日本生体医工学会（JSMBE）：第61回日本生体医工学会大会（6/30、新潟）「古くて新しい次世代放射線治療 ホウ素中性子捕捉療法（BNCT）」</p> <p style="padding-left: 40px;">③ 標的アイソトープ治療線量評価研究会（TRTdose）：第3回標的アイソトープ治療線量評価研究会大会（10/28、千葉）「核医学治療の線量評価ガイドラインに向けて」</p> <p style="padding-left: 40px;">④ 日本量子医科学会（JSQMS）：日本量子医科学会第2回学術大会（12/10、つくば）「粒子線施設の更新課題」</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 標的アイソトープ治療線量評価研究会へ賛助会員として加入</p> <p>2. 委員推薦</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 医用原子力技術研究振興財団 医療放射線監理委員会委員</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) アジア放射線研究連合（AARR）幹事</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) QST 外部評価委員会委員</p> <p style="padding-left: 20px;">(4) 第60回アイソトープ・放射線研究発表会運営委員</p> <p>3. 後援等</p> <p style="padding-left: 20px;">(1) 第60回アイソトープ・放射線研究発表会（主催：日本アイソトープ協会、7/5～7/7）：協賛</p> <p style="padding-left: 20px;">(2) 第3回標的アイソトープ治療線量評価研究会大会（主催：標的アイソトープ治療線量評価研究会、10/28、10/29）：後援</p> <p style="padding-left: 20px;">(3) 核医学治療セミナー（主催：日本医学物理士会、Web、2/4～2/24）：共催</p>						

	<p>4. 表彰候補者推薦</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 日本学術振興会賞（3月）：推薦なし</li><li>(2) 日本学術振興会育志賞（5月）：推薦なし</li><li>(3) 科学技術分野の文部科学大臣表彰（6月）：推薦なし</li></ul> <p>5. 研究課題援助</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 2019・2020年度援助課題：第124回学術大会（9/16、長崎）で成果報告</li><li>(2) 2022年度援助課題：7件の応募から1件を採択（50万円）</li></ul> <p>6. その他</p> <ul style="list-style-type: none"><li>(1) 国際研究交流状況調査（公益財団法人 未来工学研究所）への協力</li><li>(2) 第124回学術大会（9/16、長崎）における学際交流委員会企画：3次元ゲル線量計の臨床応用とその秘めたる力</li><li>(3) 科研費取得促進<ul style="list-style-type: none"><li>・ 科研費の小区分の内容に「医学物理学」を復活させるための活動</li><li>・ 活動を推進するために委員会内にワーキンググループを立ち上げた</li></ul></li></ul>
--	--

## 医学物理士委員会

日本医学物理学会 会長 殿

令和 4 年度（2022 年度）の活動につき、下記の通り報告いたします。

報告者氏名 石川 正純

委員成 委員長◎	石川正純◎、西尾禎治、宇都宮悟、亀澤秀美、黒岡将彦、黒河千恵、小泉雅彦、高田健太、武川英樹、津田啓介、恒田雅人、遠山尚紀、中村哲志、西岡史絵、芳賀昭弘
今年度課題	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職種別医学物理士支援についての検討</li> <li>2. 医学物理士に関する将来像、情報交換等における JCMP、JBMP 等との連携体制の構築。</li> </ol>
委員会開催 履歴	適宜メール会議
総括	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 関連団体との情報共有及び意見交換会の検討 JRC2022 開催中に医学物理士の今後のあり方に関する関連団体の意見交換会に参加。今後も継続して関連団体との連携を図っていく。</li> <li>2. 職種別の医学物理士支援の検討 前年度の活動においてまとめられた「日本医学物理学会が医学物理士に期待すること」を受けて、医学物理士委員会として日本医学物理学会に所属する医学物理士に対する支援方法について検討した。職種別医学物理士として、それぞれのエフォートに応じて臨床型、研究型、教育型を想定し、各タイプが求める情報や医学物理学会として提供できるリソースなどについて考察した。</li> </ol>

